

北海道室蘭市

地域共創型の道路・公園・除雪維持管理システムの構築

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ 除雪 ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

地元民間事業者の参画と地域の市民・団体・企業の協力による地域共創型の道路・公園・除雪維持管理システムを構築し、インフラマネジメントを行うことで、地域の安全な暮らしを守り、持続可能で活気あるコミュニティの形成を目指したい。

①解決したい課題

【背景】

- 予算不足、官民双方の人手不足 → 官民双方の負担増、維持管理業務にも支障
- 公園面積は全国的に恵まれている一方で、それゆえに維持管理サービスの質は低い
- 夏期は道路・維持管理業務、冬期の除雪業務と、業務体制が複雑化している
- 地域住民による清掃・草刈り等の維持管理の担い手が固定化・高齢化している

【限られた財源・人員の中でインフラマネジメントを行うための課題】

- (1) 予防保全型の計画的で効率的な維持管理への移行
- (2) 発注業務および苦情要望処理業務の負担軽減・効率化
- (3) 地域コミュニティ活性化に寄与する地域参加の仕組みの構築

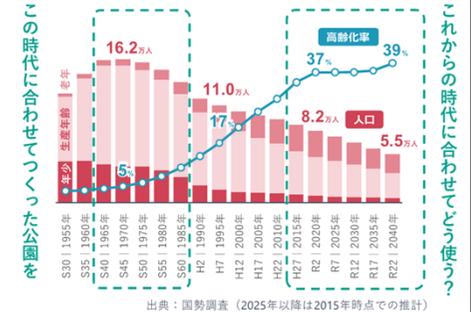
【室蘭市概況】

- 人口：7.5万人、面積：81 km²、立地：北海道南西部沿岸
- 道路延長：440km、公園数：121箇所
- 1人当り公園面積：51m² 全国3位（※人口5万人以上市町村）

【取り組み状況】

- 維持管理業務委託の集約化：H30年度 54件 → R6年度 31件
- 室蘭市中島地区公園再編方針の策定：R4年度
- 除雪に関する市民通報システムの実証実験：R5～6年度
- 室蘭工業大学との共同研究 AI舗装点検：H30年度～
- 市民ボランティア制度「まち『ピカ』パートナー」：H16年度～

室蘭市の人口と高齢化率の推移



※室蘭市中島地区公園再編方針より

②課題解決の方向性等

1. 包括的民間委託の導入

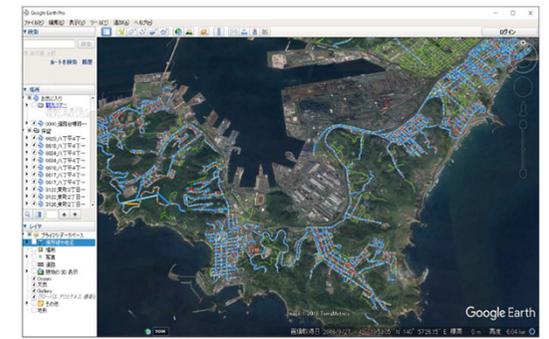
- 現行の道路・公園の維持管理業務に加え、除雪業務を組み入れた包括的民間委託の形を模索したい
- 地元民間事業者へ共通目的やメリット等を共有しながら、最短で令和10年度の導入を想定
- 削減よりも現状程度のコストを維持しながら維持管理サービスの向上を目指したい

2. 既存システム・データの活用

- 実証実験中の市民通報システム（現時点では除雪に特化したシステム）を活用したい
- 室蘭工業大学との共同研究によるAI舗装点検データ（市道全線のひび割れ率）を活用したい
- 業務の効率化や、修繕箇所の優先順位付け・情報公開などを期待

3. 地域共創体制の確立

- 地域の市民・団体・企業が無理なく参加できる仕組みを構築したい。点検や簡易な修繕、草刈り等の活動を通じ、インフラの維持管理に関わるやりがいを持てる体制としたい
- 公園・道路等メンテナンスのための資機材提供、活動内容の発信、作業内容や官民の役割分担を示した手引きの策定などを想定



※室工大共同研究によるひび割れ分析のマッピング

③課題解決のイメージ・効果

- 室蘭市：業務の効率化と持続的なインフラ提供。地域コミュニティの活性化
- 受託業者：新たな受注機会の創出。地域との信頼関係の構築
- 市民・団体・企業：地域貢献によるやりがいと生きがいの創出

その他

【他自治体への展開可能性】

- 除雪業務の包括化は同様の課題を抱える全国の寒冷地自治体にも適用可能
- 一人当たり公園面積が広い自治体や人員不足が課題の自治体では、地域共創型アプローチが有効